

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツとまなびのひろばSAIYO鴻池校			
○保護者評価実施期間	2024年12月11日		～	2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年1月6日		～	2025年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが楽しみに通所してくれており、保護者様も全員満足してくれている事	子どもが行きたい！と言葉にする、帰ってきた後に楽しかったと言ってもらえる活動を提供している。	楽しいだけではなく、「正しく、楽しく」子どもの成長に繋がる活動を楽しく取り組んでいきたい。
2	グループ内の事業所との連携が取れている。 療育内容を共有しあう事で工夫や改善の案が多く見つかり、より質の高い療育が提供できていること	WEBミーティングによって集まりやすい環境と、その中で療育についての情報共有ができる、相談できる関係がある事。	スタッフのやりがい=子どもの成長を感じる事になれるよう、スタッフの成長の機会を作っていきたい
3	アセスメント・支援計画・療育・スタッフの対応に一貫性があること	子どもの支援に必要なピースを全ての職員が分担し、話し合っ て支援方針が決める。 子ども達を中心としたチームワーク	ひとつずつを疎かにせずより良い療育が提供できるよう日々のスタッフのコミュニケーションや職場環境を整備していきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会や保護者会など保護者同士が関わる機会が少ないと感じている事	・夏祭りや療育参観日などの機会を交流の機会として認識してもらい、活用できればと思う。	・案内の工夫と保護者の意見を取り入れたイベント等も実施してみたい
2	情報発信と周知がいき届いていない事	・安全計画や緊急時対応など変更が生じた事や日頃から伝える機会が少ない	・安全計画など通常時ではなく非常時の対応について保護者様に周知できるように対応していく
3	保護者様向けの研修や勉強会など、子育てや支援についての情報を伝える機会が持てていない	・子どもさんにあった支援の方法などは面談時にしか伝えられていない事もあり、もっと多くの事を知りたい勉強したいというニーズがあると分かった	・事例報告会や子育て勉強会など保護者様が知りたい情報をキャッチしそれに合った研修などができればより良いと思う。